



ふれあいひろば

[患者とともにある全人的医療]

新潟市民病院アートプロジェクト

新潟市民病院
広報委員会



緩和ケア内科 田中 萌生



皆様、ホスピタルアートという言葉はご存じですか？ホスピタルアートは「アートインホスピタル」とも呼ばれ、医療現場にアートを取り入れ、患者さんや職員にとって癒やしの空間を作ったり、治療にいかしたりする取り組みです。欧米で始まったホスピタルアートですが、日本でもこの取り組みは広がりつつあり、そして当院でも新潟大学教育学部芸術環境講座の先生と学生さんのご協力のもと開催する運びとなりました。

お気づきになった方もいらっしゃると思いますが、実は3/1から約1ヶ月間、外来棟と南棟をつなぐ2階の渡り廊下で第一回目ホスピタルアートをひっそりと開催しておりました。第一回目のテーマは「花さかプロジェクト」。どんなものだったかというと、患者さんや職員に花紙で簡単なお花を作って毛糸に結びつけていただき、それを窓の花壇に飾っていくというものでした。3/1に開始したばかりの頃は花壇のみ。それが日ごとに手作りのお花が増えていって・・・最後は満開のお花でいっぱいの窓辺になりました。

有名な絵画やオブジェを飾るという展示の仕方もあるのですが、当院のアートはただ設置するだけのものではなく、患者さんや職員たちが参加してひと

つのものを作り上げる、日々変化するアートです。自分の作った小さな作品が、他の方々の作品と一緒にすることで大きな世界へと広がっていく。これには、「ひとりじゃないよ」「私も頑張るから、あなたも頑張る」「大変な状況にいる人の力になりたい」そんな想いや願いがつながっていけるようにとの願いがこもっています。

次回は夏頃に開催の予定です。院内でアートプロジェクトのコーナーを見かけたら、ぜひ参加してみてください。



コロナ禍の救命救急・循環器病・脳卒中センターの活動

救命救急・循環器病・脳卒中センター センター長 廣瀬保夫

新型コロナウイルス感染症は、2020年1月に国内初の例が報告以降、流行を繰り返し、本稿を執筆時点で第6波の渦中にあります。令和4年3月現在で全国で亡くられた方が2万5千人を超え、東日本大震災を超える「災害」の様相を呈しています。当院は新潟市の救急医療の要である「救命救急・循環器病・脳卒中センター」を有し生命に関わる重症の救急患者さんの治療を担当しており、今般のパンデミックでも特に重症例の治療を担当しています。

新型コロナウイルス感染症は重症化すると肺炎を起こし、更に悪化した場合は人工呼吸器が必要な状態になります。人工呼吸器による治療とは、口からチューブを気管まで挿入し機械で高濃度の酸素を送り込む治療です。更に肺炎が進行し人工呼吸器でも体内の酸素濃度が確保できなくなると、ECMO（体外式膜型人工肺）という治療が考慮されます。ECMOは太いカテーテルを大きな血管に挿入して大量に脱血し人工肺で酸素を血液に取り込ませ体内に戻す、という治療法です。新型コロナ重症例の人工呼吸器、ECMO治療の期間は数日から長い例では1か月以上に及びます。長期の機械的治療は患者さんの身体的、精神的負担は非常に大きく、御高齢であったり基礎疾患をお持ちなどの場合は、様々な合併症が起こり、必ずしも良い結果になりません。

当センターでは令和4年3月現在で県内最多の60例以上の重症患者さんの治療を担当してまいりました。治療成績は全国的な統計に比しても良好ではありますが、残念ながら何名かの患者さんを失っております。新型コロナウイルス感染症では重症化する前に適切な医療を受けることが非常に重要ですが、流行があまりに拡大するとそれも難しい状況になってしまいます。市民の皆様には、今しばらくは、十分な感染対策をお願い申し上げます。

重症新型コロナウイルス感染症の治療は、感染管理の観点から他の患者さんとは隔離して行う必要があります（コホーティング）。医療スタッフも他の患者さんと同時に担当することは出来ませんので、ハード的にもマンパワー的にも大きなリソースが必要になります。よく、コロナ用の病床を十分に確保すれば良い、という論調があります。集中治療室をコロナ用に確保するということは、結局、他の疾患用のベッドを転用することに他なりません。新型コロナウイルスの流行が拡大すると、その他の救急医療がひっ迫せざるを得ないのは自明の理であることは、市民の皆様にも知っていただきたいと思います。オミクロン株になり、新型コロナにより肺炎が起こる例が少ないのは確かですが、感染力がこれまでと段違いに強く、脳卒中や心臓病など他の疾患と合併して重症管理を要する例が増えてきており、新たな段階に入ってきたと感じています。

新型コロナウイルスとの戦いはまだまだ続きます。当センターのミッションを果たすべく、重症新型コロナ治療もそれ以外の重症救急の治療も全力を尽くしてまいりますので、よろしく願いいたします。



隔離、空調管理された救命救急・循環器病・脳卒中センターの一角。この中では重症患者さんが新型コロナウイルスと戦っています。

令和3年度 病院患者満足度調査の結果を受けて

業務検討・病床管理委員会

昨年11月に、病院患者満足度調査を実施しました。この調査は、入院患者さん、外来患者さんに、当院の医療サービスについてお伺いしているものです。

アンケートには、1,849名（入院352名、外来1,497名）の方からご協力いただきました。患者さん、ご家族の皆さまにお礼を申し上げるとともに、調査結果の概要をご報告いたします。

病院満足度

当院に対する総合的な評価項目「全体としてこの病院に満足している」との設問に対し、肯定的な回答を頂いた患者さんの割合（＝「満足度」）は次のとおりです。

	令和元年	令和2年	令和3年
入院	92.4%	94.4%	96.2%
外来	88.1%	90.1%	90.6%

入院、外来とも多くの患者さんから、高い評価をいただきました。職員の日頃の取り組みや努力を評価いただいたことを大変嬉しく思います。

満足度の高かった項目、低かった項目

次に、満足度が高かった項目、満足度が低かった項目を、下記にまとめました。

【入院】満足度が高かったもの		【外来】満足度が高かったもの	
アンケートの項目	満足度	アンケートの項目	満足度
看護師の説明はわかりやすく、質問しやすかった	96.6%	他の診療所や病院から、この病院を紹介されて満足している	92.8%
全体としてこの病院を信頼している	96.5%	全体としてこの病院を信頼している	91.9%
全体としてこの病院に満足している	96.2%	全体としてこの病院に満足している	90.6%
入院中は安全に医療サービスが行われていると感じた	96.1%	医師の技術や知識を全面的に信頼することができた	89.7%
医師の技術や知識を全面的に信頼することができた	92.6%	この病院に最初にかかる時、「紹介」が必要だという仕組みを理解している	88.6%
【入院】満足度が低かったもの		【外来】満足度が低かったもの	
アンケートの項目	満足度	アンケートの項目	満足度
見舞い客や家族との面会時間は都合がよかった	41.9%	苦情を言いたいときに受け付けてくれる場所や担当者がわかりやすい	40.0%
職員は入院したらどのくらい費用がかかるか説明した	43.8%	待っている間、あとのどのくらい待つのか、わかっていた	44.0%
苦情を言いたいときに受け付けてくれる場所や担当者がわかりやすい	45.7%	待っている間、職員から「お詫び」や「ねぎらい」の言葉や会釈を受けた	44.8%
支払額の内訳がわかりやすく、納得のいくものだった	57.4%	予約した時間通りに診療してもらった	55.0%
退院する時に、いくら支払うのか、前もって知らせてくれた	60.8%	リハビリテーションに関する、病院スタッフの対応	58.4%

満足度が高かった項目は、今後もサービス水準を維持します。

一方、満足度が低かった項目については、皆さまから高い評価をいただけるよう、改善活動を進めます。

また、皆さまから寄せられた「自由記述によるご意見」については病院全体で共有し、日々の業務の見直しや、患者サービス向上に向けた改善活動に活用させていただきます。

「患者さんに信頼されるぬくもりのある医療の提供」に向けて

皆さまからいただいた評価、お叱り、励ましをもとに、当院の目指す「患者さんに信頼されるぬくもりのある医療」を提供し続けるように、より一層、努力を重ねていきます。

お気づきの点がございましたら、1階の患者相談窓口、または院内に設置しているご意見箱までお寄せください。

新型コロナウイルス感染症に伴うお知らせ

新型コロナウイルスによる院内感染防止の観点から、外来受診、検査、入院などの少なくとも2週間前より下記事項をお守りください。これらが守られなかった場合には、入院、検査等を延期せざるを得ないこともありますので、あらかじめご了承ください。

- ①人と接するときは、常にマスクを着用してください。
- ②不要不急の県外滞在は控えてください。
- ③同居家族以外との会食や宴会等への出席は控えてください。
- ④次のような場合は、直接受診せず、前もって連絡をして対応をご確認ください。

- ・新型コロナウイルス感染症と診断された方、疑われた方との接触があった場合
- ・発熱や感冒症状、味覚・嗅覚異常などが出現した場合
- ・同居家族内で発熱や感冒症状、味覚・嗅覚異常などがみられた場合
- ・同居家族以外との会食や宴会等に出席があった場合
- ・新潟県外での滞在があった場合
- ・新潟県外から来られた方との接触があった場合

多くの患者さんの安全のため、ご協力をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症に伴うお知らせは、新潟市民病院のホームページで随時更新しております。

<https://www.hosp.niigata.niigata.jp>

当院のホームページにも、バックナンバーを掲載しています。
「新潟市民病院 ふれあい広場」と検索してみてください！

発行元：新潟市民病院 広報委員会
新潟市中央区鐘木463番地7 TEL 025-281-5151

編集後記

4月になり新年度がスタートしました。本年度も患者さんとの情報のキャッチボールをするための広報誌として、「ふれあいひろば」の発行に尽力して参りますので、よろしくお願いたします。(C)